

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全・安心度		目標年度	指標の設定理由				
	数値	100%以上			H27	平成20年における年間の交通事故発生件数(人身・物損事故総数)及び犯罪件数(全刑法犯)の合計を基準にして、対比を安全・安心度とするもの			
活動指標	指標	a	交通安全活動の参加者数	b	防犯パトロール隊結成数	c		d	
	数値	目標	17,215人	目標	35隊	目標		目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H23	H24	H25
安全・安心度	%	98.4 %	99.1 %	105.1 %
		98.4 %	99.1 %	105.1 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 交通安全活動の参加者数	人	21,820 人	19,929 人	20,440 人
		126.7 %	115.8 %	118.7 %
b 防犯パトロール隊結成数	隊	35 隊	35 隊	36 隊
		100.0 %	100.0 %	102.9 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
交通事故件数、犯罪件数とも前年度より減少しているが、交通事故死者数が多い。
対応(改善点等)
(交通安全)関係機関と連携して、交通事故防止活動(啓発活動等)、特に高齢者に対する啓発を強化する。

5. 事業費・・・H23～H25(決算額)、H26(予算現額)

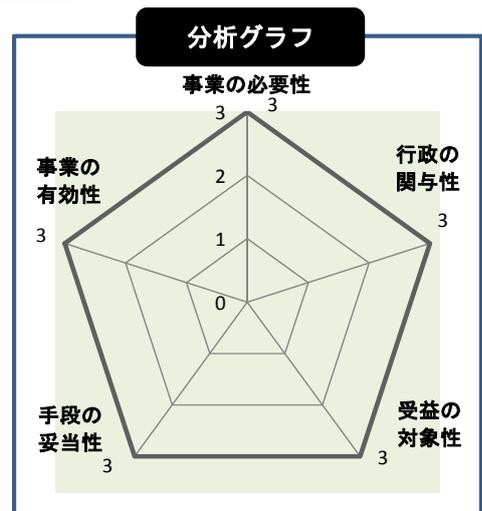
決算額(千円)		H23	H24	H25	H26
		14,910	22,736	15,867	18,789
うち経常経費		8,154	9,343	9,197	9,249
財源内訳	国費	6,681	6,825	6,473	6,800
	県費				
	市債				
	その他	380	6,697	356	356
	一般財源	7,849	9,214	9,038	11,633
うち経常		7,774	8,644	7,641	8,893
事業費に係る人件費		16,125	14,814	12,771	12,020
事業費に係る人役		3.75	3.45	2.93	2.71

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境づくりに引き続き取り組んでいく。 また、個別の事業費の見直しを行い、経常経費の削減に努めていく。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 交通安全対策基本法等により、国、地方自治体、住民の責務が定められており、市の責務が発生する。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 安全・安心なまちづくりを推進するうえで適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 平成25年度の成果指標 安全・安心度は100%を上回っており、期待したとりの成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	効果的な設置場所等の適正配置及び経費節減に努め、交通事故防止活動等を通じ、啓発活動を強化すること。